

環境災害対応委員会報告

2011年10月7日 理事会
環境災害対応委員長
松本 淳

<大震災後の党委員会および各学協会の対応総括>

- ・災害対応 WG 発足：
主査：火山-中村、副査：地図-宇根、地震-田所、気象-石原、地理-須貝、
活断層-吾妻、第四紀-田力、水・水-真木、委員長-松本
- ・環境対応 WG 発足：
主査：電磁気-小田、副査：リモセン-近藤、GIS-目代、気象-江守、第四紀-陶野、
応用地質-大野、委員長-松本
- ・発生後の対応：HPの緊急ページ作成への協力、現地調査に関する緊急とりまとめ、先遣隊
の活動に関する情報提供への協力、連合大会での緊急セッションの開催（須貝）、震災緊
急研究伝言板への協力（目代、吾妻）
- ・連合大会での緊急セッション「東北地方太平洋沖地震」日本地震学会と共催。代表コンピ
ーナ：篠原雅尚、共同コンピーナ：田所敬一、須貝俊彦、中島映至 発表申込件数約 190
件
- ・各学協会別の対応および今後の予定の照会とリスト作成（別紙資料）
会長・理事長などの声明・提言などの発表
シンポジウムの開催
HPでの情報発信
被災者への会費減免，学校・研究機関への支援金
関連研究の推進
<今後の課題>
連合として，全貌を示すHPが必要
一般社会とどう向き合うか？大きな課題
基礎知識の普及，調査法の発信などが必要
科学と社会の関係に関して，委員会母体でのセッション提案？

<2012年日本地球惑星連合セッションの共催提案希望>

1. 提案セッション名：一般セッション「人間環境と災害リスク」

提案母体：日本地理学会

共催：地球惑星連合環境災害対応委員会、日本第四紀学会、地理情報システム学会、
日本国際地図学会、日本地質学会、火山学会（予定）

代表コンビーナ：青木賢人（予定）

共同コンビーナ：小荒井 衛 須貝俊彦 宇根 寛 中村洋一 長坂俊成 松本 淳(予定)

2. 提案セッション名：ユニオンセッション「都市における極端気象」

提案母体：地球惑星連合環境災害対応委員会

共催学会：水文・水資源学会、日本気象学会、日本地理学会（予定）

協賛学会：土木学会、日本災害情報学会、日本自然災害学会（予定）

代表コンビーナ：松本 淳、共同コンビーナ：真木雅之・石原正仁・(未定)

提案セッション名：都市における極端気象

3. セッションタイトル：「福島第一原子力発電所事故による環境汚染への地球科学からのアプローチ」（仮）

スコープ：「2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による津波を契機として、東京電力福島第一原子力発電所の事故が発生した。それにより原子炉施設から多量の放射性物質が環境中に漏出し、その後の気象条件に応じて周辺に拡散している。その結果として生じた環境汚染、特に食料と飲料水の放射性物質による汚染は、住民と産業にとってきわめて深刻な被害を引き起こしている。この事故の発生後、地球科学においても、大気・海洋など環境中への放射性物質への輸送・拡散過程および土壌・植生・河川・地下水などにおける移行過程についての様々な調査研究が行われつつある。本セッションでは、事故発生後1年間に実施された、大気、陸域、海洋における放射性物質の輸送・拡散・移行過程の研究についてのこれまでの成果を紹介し、分野横断的な議論を通じ、この事故による環境汚染の全体像を明らかにしていくと共に、今後の課題について検討していく。」（仮）

コンビーナ：筑波大 恩田、東大大気海洋研 植松、茨城大 北、JAMSTEC 滝川（いずれも予定）、松本（環境災害対応委）

4. セッションタイトル：「地球惑星科学と社会」（仮）

スコープ：大震災を契機に科学者は社会から何を学べるか、災害に対してどう向き合うのか、真摯な反省と共に今後のあり方を模索する必要があるのでは？

コンビーナ：代表 松本 淳、共同 （未定）